令和6年度長期宿泊体験活動における現地アンケート集計結果

	問1 セカンドスクールの受け入れについて,今後も現在と同程度の内容を実施することができますか。１つ選んで〇を付けてください。 １,できる　　２,部分的にできる ３,どちらともいえない　　４,難しい 問１は、別紙のグラフ参照ください 問２ 問１で選んだ理由を教えてください。			問３ セカンドスクールの受け入れは,貴団体にとって利益や価値のあるものになっていますか。１つ選んで〇を付けてください。 １,受け入れは利点が多く,負担は少ない ２,受け入れは利点が多いが,負担も多い ３,受け入れは利点が少なく,負担も少ない ４,受け入れは利点が少なく,負担は多い 問３は、別紙のグラフ参照ください 問４ 問３で選んだ理由を教えてください。			問５ 今後のセカンドスクールについて,受け入れ先として心配していることやより充実させていく提案,ご意見・ご感想などありましたら教えてください。		
	分類	**回答数**	**主な意見**	**分類**	**回答数**	**主な意見**	**分類**	**回答数**	**主な意見**
肯定的な意見	**楽しい意義がある**	**11**	〇一週間親元を離れ、仲間と様々な体験ができることを学校、地域が支えてくれるのは何よりの宝 〇無理なく楽しくやれている。 〇生徒と交流ができ、また農作業への理解が得られ、勉強になり、励みになる。 〇宿の皆さんはセカンド受け入れをライフワークとして、楽しみにしている。	**楽しい意義がある**	15	〇セカンドスクールは教育旅行を受けている中でも特別なもの、ありがたいお客様と感じている。 〇中学生との交流が楽しい。今回の男子５人は元気で、コミュニケーションも取れて楽しい。 〇田舎暮らしや農業の現場を見てもらうことは、自分たちの現在を見直すことにもなる。 〇都会に住んでいる子供たちが、自然や文化に触れたり多様な体験をしたりすることにより協調性が養われている。	**楽しい意義がある**	11	〇セカンドスクールが子どもたちの心身成長に貢献していると思う。子どもたちを思うと今後も継続してほしい。 〇農に触れることの少ない都会の子どもたちには必要な事業だと思う。 〇生徒の元気な姿から力をもらう。学校とはちがう自由にのびのびとした姿は楽しみ。 〇こどもにとって見たり聞いたり体験したり、また地元と触れ合うこと、友達と寝食をともにすることは貴重な体験と思う。 〇街の明かりがない、コンビニもない中、山の中での生活は児童の成長に役立つと思う。今後も継続の方向で検討してほしい。 〇受け入れ先としての心配はない。子供たちが素直でかわいい。畑の手伝いは助かった。２泊だと名前を覚えられる。
	体制が整っている	6	〇指導員が必ず2名ついているので可能。 〇安曇野市農家民宿協議会の長年の経験・工夫があり大変だが続けていけそう。 〇宿や指導者確保は厳しいが、学校とのコミュニケーションがとれており、その都度工夫で来ているので、今後も可能。 〇民家を借りての受入は、近所の協力を得て、食事の提供、体験、宿泊がある程度できたと思う。児童、学校関係者の理解があれば今後もできると思う。	**プログラム内容、体制が整っている**	3	〇時間、献立が決まっており助かる。 〇指導員が男女1名ずついるので、生活の手助けが助かる。 〇1泊2日程度なら負担は少ない。	**地域交流となる**	3	〇友好交流都市として、地域同士の大事な交流である。単なる体験実施地でなく、人と人の付き合いを大事にしたい。 〇農業体験、里山体験などに田舎や街をつかってもらいたい。人口減少が進んでいるので、移住なども少し期待している。 〇地元との協力で事業を組み立ててきている本地域は受入ができている。今後もお願いしたい。
	現状問題ない	15	〇今までの受け入れで問題がなかったから。 〇ここ数年受け入れているので様子が分かるため。作業等やることがほぼ決まっている。 〇去年、今年とできたので。 〇長年のノウハウがある。 〇時期がトップシーズンでないため、手が空いている時期となり施設の提供に問題ない	**売り上げとなっている**	6	〇売り上げは多い。 〇収入的に感謝している。 〇宿泊費が利益となる。	**現状問題ない**	2	〇今まで通りの日程でゆったり過ごせてよいと思う。連れてきたもらいありがたい。 〇学校の要望があり、組合の受け入れがあれば、なるべく続けたい。
	体力・年齢から考えて大丈夫	3	〇夫婦ともに30代40代なので、今後も機会があれば受け入れ可能。 〇体力的にまだ続くと思う。 〇現在62歳で、70歳くらいまでは農業を続けていこうと思っている。	**時期がよい**	5	〇夏合宿と秋山シーズンの間で収入の少ない時期であるため。 〇9月はこの時期で代わるものがない。 〇ここ数年受け入れているので様子が分かるため、予定が立てられ負担が少ない。 〇冬季は忙しいがグリーンシーズンは比較余裕がある。	**その他**	2	〇民泊でつけさせたい能力、民泊で子どもたちに感じとってもらいたいことなどがわかるとよい。 〇本部と学校が進めていくセカンドだが、全校の意見やこちら側の意見を話す反省会があるとよい。今後に役立てていき戸狩として武蔵野市側の考えを聞いてみたい。他地区での内容も冊子では見えない部分があるはずなので、聞いてみたい。
				助かる	3	〇農作業自体もはかどるので利点も多い。 〇朝から翌日の11時までだったので計画を立てた中から子供たちと歩調を合わせることができ、農作業も進んで助かった。			
				その他	4	〇他市のスポーツクラブ受け入れをしており、子どもになれているため、負担ではない。 〇地元の産物紹介、利用する場として、我々にとって利点がある。			
	楽しい意義がある(３８)　現状問題ない（１７）　体制が整っている（９）　売り上げとなっている（６） 体力・年齢から考えて大丈夫（６）　時期がよい（５）　地域交流となる（３）　助かる（３）　その他（６）								

令和6年度長期宿泊体験活動における現地アンケート集計結果

番号	問１ セカンドスクールの受け入れについて,今後も現在と同程度の内容を実施することができますか。１つ選んで〇を付けてください。 １,できる　　２,部分的にできる ３,どちらともいえない　　４,難しい 問１は、別紙のグラフ参照ください 問２ 問１で選んだ理由を教えてください。			問３ セカンドスクールの受け入れは,貴団体にとって利益や価値のあるものになっていますか。１つ選んで〇を付けてください。 １,受け入れは利点が多く,負担は少ない ２,受け入れは利点が多いが,負担も多い ３,受け入れは利点が少なく,負担も少ない ４,受け入れは利点が少なく,負担は多い 問３は、別紙のグラフ参照ください 問４ 問３で選んだ理由を教えてください。			問５ 今後のセカンドスクールについて,受け入れ先として心配していることやより充実させていく提案,ご意見・ご感想などありましたら教えてください。		
	分類	**回答数**	**主な意見**	**分類**	**回答数**	**主な意見**	**分類**	**回答数**	**主な意見**
否定的な意見	**将来・体力面に関すること**	16	〇後継者が未定のため、自分たちでいつまでできるか？高齢化のためいつまで続けられるかわからない。（９） 〇続けたいが体力的に不安。 〇高齢の母と二人で営んでおり、今後のことを考えると同じように受け続けると自信をもって答えられないのが正直な気持ち。 〇高齢となり、子どもが満足できる案内や接待ができるか心配。 〇現在の年齢での対応は可能だが、5から10年後を考えると部分的にできるとなる。はやく後継者が育ってほしい。	**体力面、休憩等について**	15	〇暑い上、宿元はほとんど休む暇がない。時間短縮でお願いしたい。 〇子どもたちについていくので精一杯。 〇受入れは続けたいが、体力的には自信がない。 〇一人で受け入れているため、目の届かないところは申し訳ない。 〇毎日の戸外学習が高齢の宿元には負担。 〇当宿では2人でのメニュー対応となっており、食事の用意、プログラム対応と多忙で体力的にきつい。 〇期間も長く指導員がつけてもらい助かるが、宿元にも休みが必要。 〇負担に関しては、20名近い子どもと24時間、6日間過ごすというのは大変。	**将来・体力面に関すること**	13	〇心配なのは宿の経営者の高齢化。 〇自分の体力が心配。子供たちは毎年5年生、私は１年ずつ年齢が増していく。 〇宿元の高齢化で、自ら一緒に活動することが難しい。ハイキングはインストラクターに外注などしては学習としての内容充実をしてはどうか。一日中共に行動することは年配のお父さんには体力的に厳しい。 〇地域全体を通して高齢化が進んでおり、受入れ宿の維持が厳しいのが現状。 〇老い、身体のことが心配。 〇毎年実施日が早くなっている。２つの学校を受け入れているが、間の休日がほしい。 〇高齢などにより、以前より負担に感じている宿もある。配慮や宿の変更などは必要かもしれない。
	プログラム・内容に関すること	8	〇行程が多く時間に追われる。５泊６日の日程も検討ではないか。 〇稲刈りと脱穀の日、残暑が厳しく体力が続かなかった。田んぼが広すぎる。 〇体験メニュー・食事回数が多いこと 〇キャンプファイヤー実施は負担。 〇稲刈り、脱穀は食事の準備ができなくなるのでなくしてほしい。工作、畑体験は宿で対応できる。 時期的に高温で外での農作業はあまりできない。１泊３食ぐらいを希望する。	**プログラム・内容に関すること**	17	〇宿の負担をなるべく軽く、学校訪問をなくしてもらうとありがたい。 〇事前準備、仕事量が多い。 〇マイクロバスの手配が、みんな高齢化になり大変。 〇車で移動する場合、宿元がマイクロバス運転するので不安がある。 〇食事の準備は大変なので負担である。 〇この地区は自然体験には向いていると考えられるが、体験に同行することを少し減らしてほしい。 〇宿としては、田んぼの収穫などの兼ね合いで多少の負担はある。 〇稲刈りやキャンプファイヤーの体験イベントの準備は泊数が多いので負担が多い。 〇５泊６日の間ずっと一緒に行動し、児童を預かるという肉体的精神的な負担は大きい。	**プログラム・内容に関すること**	16	〇2日位昼食を減らしたり息抜きできる日がほしい。すべての食事準備は大変なので、例えば2日目の朝昼は外で食べ、午後から再受入とかならやれるかとも思った。 〇できるだけ安心して利用してもらえるよう①活動の分業化（インストラクター、ガイドに託す）③観光を入れる、お小遣いによる買い物などを行う。 〇子供たちの活動にもう少し自由時間があって良いのではないか。 〇農家の付き添いで飲食店を回ったり、自由行動して行動範囲を広げたりしてはどうか。バス移動しなくても、宿の周りに歩いて体験する場所がある。 〇泊数を3日程度にしてほしい。 〇屋外活動でなく屋内活動でできることを考えて行く必要がある。寺での説法も面白い。語らいの時間があまり活用できていないので見直しが必要。 〇中学生との交流の日程を組んでほしい。１日だけの宿泊では十分な体験ができないのではないか。
	スタッフや体制に関すること	4	〇宿泊内容が農場体験などでアルバイトでおぎなえない内容のため。 〇宿泊は可能だが、マイクロバスの運転が難しくなってくる。営業車を手配してもらいたい。 〇労働量不足のため、イベントや急病への対応が難しい。 〇日中活動を宿で行うとスタッフが足りないため、同程度の内容を行うことは難しいと思われる。	**料金面**	7	〇当宿は本部宿のため、他宿の比べ人数が少ない等々がある。来年以降は大人料金として値上げしてほしい。 〇物価高騰があり、補填するために事務局経費削減の部分があった。光熱費、食費が値上がりしている。 〇まとまった収入になっているので「背に腹はかえられない」と考えており、労働に見合っていない仕事でも「やらなければならない」と判断しているのではないか。 〇経費（食材費、水光熱費等）が高騰しているため、現在の金額で受け入れるのは負担が大きい。食事も規定メニューでは足りず、宿のサービスでプラス食材やおかわりを増やしている。	**スタッフや体制に関すること**	12	〇数件の宿がグループで受け入れているが、1軒でも欠けると補充が難しい。 〇宿元がマイクロバスを使い運転すのが心配。高齢化しており、山道も狭い。安全重視で移動はプロドライバーに任せるとよい。 〇プロドライバー・車両の確保（事故なく安心して移動する） 〇受入れ農家の数がまだ少ないのが心配。 〇受け入れ側の仲間をもっと増やしたいが難しい。 〇１名、子供の世話をする人を付ける必要がある。 〇病人が出ても先生が生徒を乗せて車の運転ができないと言っていた。宿元もプロドライバーではない。事故が起きることを考えると、営業車の導入が必須だと思う。 〇指導員は何をすべきか理解して来てほしい。
	体制や料金面	2	〇料金据え置かれたことで負担と感じる 〇受入れ宿の減少が見込まれるため、宿数が減り、一宿の受入人数が増える。	**児童・生徒に関すること**	8	〇生徒が年々変わってきている。マウントをとる子、偏食、やる気ない子、受け入れる側の心のボリュームがないとできない。 〇アレルギーや好き嫌いが多い。 〇食物アレルギーをもつ児童が増えてきており、対応に苦慮する。 〇接し方等が年齢差があると難しいと感じることがあるので。 〇歳を取り子どもたちとの生活の温度差が気になる。生徒が自分たちのことで不満に思っていないか気になる。 〇生徒も多様で、期間中の責任が大きいので。	**児童・生徒に関すること**	13	〇アレルギー対応に悩む。程度状態をはっきり教えてもらい対応していきたい。 〇児童の様子を事後報告的なことでは対応に苦慮する。指導員・宿とも情報共有してほしい。 〇子供の体調・アレルギーが一番心配。（普段の様子が分からないので） 〇セカンド前に、あいさつ、片付けなどの生活の基本的なことを勉強させてほしい。 〇旅行客気分の生徒に対して作業や体験で充実してもらいたい側とのギャップがあるので教員に指導してほしい。 〇環境が違うところに来るので、出発前から十分な健康調査をしてほしい。 〇アレルギー対応。ひどいアレルギーをもつ子は親から食べられるものをあらかじめ送ってもらう対応をお願いしたい。 〇就寝時間の厳守に指導をお願いしたい。
	その他	1	〇来年度の客の日程と受入日程が未定のため。	**その他**	3	〇イベント（花火大会）や連休がからむと宿としてはきつい。 〇天候次第なので、気持ちが忙しかった。 〇本部任せにしている部分を学校⇔本部の形になるなら、指導課⇔本部の形は難しいので戸狩観光協会が関わるべきと考えている。	**時期、暑さ**	7	〇9月中旬のスタートが多いため、残暑が厳しい。合わせて連休が重なり売り上げ機会を逃している。よって、９月後半から１０月にかけて実施してほしい。 農事体験では野外での暑さ対策が心配である。時間帯か時期をずらすとよい。 〇熱中症や食中毒が心配。 〇9月の受入れは台風や農家を兼ねている所の稲刈りと重なるため、民泊の受け入れ先が少なくなる懸念がある
							料金面	3	〇ここ数年宿泊料金は据え置いてきたが、物価高騰で宿泊料金を見直しせざる負えない。料金の改定を検討しており、変更の可能性がある。 〇仕事に見合った「宿泊料金」を提示し、継続することが本来の在り方ではないかと思う。

将来・体力面に関すること（４３）　プログラム・内容に関すること（４１）　児童生徒に関すること（２１）
スタッフや体制に関すること（１６）　料金面（１３）　時期、暑さ（７）　その他（４）